

第5回環境部会記録

1. 日 時 平成25年5月15日(水) 17:30～19:30
2. 場 所 本会会議室
3. 出席者(順不同敬称略)
 - 部会長 中村 勉(中村勉総合計画事務所/東京)
 - 副部会長 篠 節子(篠計画工房/東京) 澤地孝男(建築研究所/茨城)
 - 委 員 大野二郎(日本設計/東京) 河野 進(河野進設計事務所/東京)
 - 山田貴宏(ビオフォルム環境デザイン室/東京)
 - 糸長浩司(日本大学/神奈川) 宿谷昌則(東京都市大学/神奈川)
 - 辻 充孝(森林文化アカデミー/岐阜) 阿部弘明(空間デザイン/大阪)
 - 欠席者 山口克己(アルセッド建築研究所/東京)
 - オブザーバー 山下浩一(国土交通省)
 - 常務理事 木村行道
 - 事務局 山田隆一、高橋宏志、佐藤綾乃、阪本 靖

4. 報告事項

(1) オブザーバーについて

中村部会長より、本部会に国土交通省住宅局住宅生産課建築技術政策分析官/山下浩一氏にオブザーバー参加いただく旨の説明と紹介があった。

(2) 平成25年度住宅省エネルギー施工技術者講習の実施計画について

事務局より以下の報告があった。

本年度は養成対象を広げ、設計技術者1万名、施工技術者2万名、計3万名を目標に講習会を開催する計画である。本会としても動員に協力する観点から、HP等で積極的に周知を行いたい。

- ・施工技術者向講習(C講習) 6月～10月428回開催予定
- ・設計者技術者向講習(省エネ基準/B講習) 11月より215回開催予定

なお、講習合格者名簿、テキスト、講義用DVDを木活協HPで無料配信を検討している。本会のHPともリンクを貼り、活用に協力したい。

(3) 前回の議事録について。

異議なく了承された。

5. 議題

(1) 本部会の検討テーマの進め方について

はじめに、事務局より「資料-3 日本建築士会連合会HPにおける環境関連コンテンツ等の設置案」に基づき、提案内容と以下の説明があった、

検討テーマには、時間をかけた議論を要するものと、ローコストでスピーディーに対応が可能なものがある。小冊子など原稿が必要となる資料については各テーマの担当委員に作成いただき、関係省庁や他団体のHPとリンクを貼るだけで情報提供が可能なものについては事務局で進めたいと考えるので、合わせて協議いただきたい。

以上の説明があり、各委員より以下の意見が出された。

(各委員の意見)

- ・ 連合会HPに誘導する手法の検討も必要。各建築士会の環境活動組織と連携し、地域における環境関連の見学会等の活動紹介、建研のプログラムともリンクを貼りたい。「自然、再生可能エネルギーの普及」では、太陽光だけでなく、バイオマスの事例、民間の活動、各種補助制度も紹介したい。
- ・ 情報の羅列で終わらないようにしたい。宝となる情報をうまく整理して示したい。
- ・ 整理は、各担当委員が行うことでよいか。また、各ボタンの冒頭にテーマの概要をA4版1枚にまとめて載せたい。
- ・ 大阪では他団体と連携して教育活動に取り組んでいるので、そこからも情報発信ができる。
- ・ 市民の中にも知恵があるので、それらを拾いたい。
- ・ 事例があるとわかりやすい。それらを集めて整理すると効果的である。
- ・ 軸となるのは、省庁関係の考え、具体的事例、補助制度の構成か。
- ・ メーカー、製品、材料とのリンクは要らないか。建築分野外の製品を使うこともあるのでそれらの情報があると有り難い。
- ・ 材料などに連合会〇適マークを付けられれば喜ばれるが、だれが評価を付けるのかが課題となる。
- ・ 公的な基準、規格を知らしめることであろう。独自の評価は相当難しい。
- ・ 事例も色々なところにあるが、専門的過ぎたり、使いにくかったりさまざまである。地域メーカーや各地域の仲間たちのネットワークにつながるとよい。温水についても、ただ機械を設置するに留まらず建築士が上手くかわらないといけない。
- ・ 次のステップを見据えたHPづくりをしたい。
- ・ 連合会が道筋を作り、建築士会との役割分担はどうあるべきなのかも考えたい。
- ・ 今年の全国大会で議論の場を設けられないか。～現段階では困難である。
- ・ 制度外のものについては、理念中心か事例中心にするのか。また、各テーマの担当者を明確にしないと質問への対応もできない。HPを管理して発展させる仕組みが連合会に要るのではないか。
- ・ 中身については各担当者の裁量に任せるのか。テーマごとにバラバラなものになってしまわないか。
- ・ 低炭素問題、防災問題等、社会的活動につなげたい。ただ、デザインをしてれば良いという時代ではないし、行政とも連携して活動しなければならない。実際に東京で他団体と共同で建築会という組織を作り、区と協定書を交わして協力・支援の体制を作った。こういう事例を広げたい。
- ・ 双方向の情報提供システムが望ましいので、士会委員の手がけた住宅の仕様、エネルギー計算の事例を掲載してはどうか。
- ・ そこには住まい手の声も載せたい。
- ・ 連合会には環境関連の顕彰はないのか。～設けられていない。
- ・ 住宅作品の掲載を広く募り、情報さえきちんとしていれば全部載せる。良し悪しは見た人が判断すればよい。
- ・ J I Aの環境賞を参考にフォーマットを用意して写真、プラン、使用した地域材を出さ

- せる。一般ユーザーにアプローチでき、営業にもつながる。
- ・ストック改修テーマの素材がないので、各地域で守りたい、大事にしたい住宅、町並み等を集め、環境配慮型住宅事例集として掲載してはどうか。
 - ・省エネ基準の見直しが複雑で単に国交省のHPだけを見ればわかるものでなく、建研、サステイナブル協会のページを参照する必要がある。また、住宅の地域性については、世間で思うほど情報はなく、この部会で収集できればありがたい。
 - ・まずは、HPをスタートさせて、その後、必要な情報や仕掛けを追加すればよい。

以上の意見が出され、今後、下記の方角で進めることとなった。

- ①検討テーマについて、HPで情報提供等できるものから発信する方角で進める。
- ②公開する情報は、中村部会長の了承を前提とする。
- ③各テーマの概要を300字程度で中村部会長が書き上げる。
- ④作品の情報掲載には、施主の了解や防犯上の責任問題が伴うので、今後の検討課題とする。
- ⑤メーカーの情報掲載は、公益社団法人として取り組んでよいものか、有識者の判断も仰ぎよう検討することとする。

(2) 次回の部会開催について

- ①日時 7月23日(水) 17:30~19:30
- ②場所 本会会議室

以上